



法人理念

個が尊重され、子の思いに寄り添い、孤をうまない

教育・保育理念

「自分らしく」自分自身を大切に、自分以外に共感する

教育・保育方針

- ・集団生活の中で、子どもが、急かされたり、無駄に長い時間待たされることなく、自分のテンポで、自分の生理的欲求、関心に合わせた生活ができるようにする。
- ・探求的な学習や体験活動をとおして、全ての子どもの可能性をひきだす。
- ・子どもが真ん中、保護者、職員、地域、関わる全ての人による、集団共同型子育てをする。

めざす子ども像

- ・健やかで、思いやりのある子ども
- ・自ら考えて行動し、豊かな感性と想像力のあふれる子ども
- ・生き活きと楽しめる子ども

育児担当制

乳児は、育児担当制をとりいれています。

集団の中で一人ひとりの違いを認め、特定の大人とかかわる（食事・排泄・着脱など）中で、子どもは愛着行動を示し、人に対する基本的信頼感を獲得していきます。

異年齢保育

幼児（3～5歳）は異年齢保育をとり入れています。年齢幅があることで「無条件に認め合う関係」が生み出されます。他の年齢の子どもたちと関わることで社会性や協調性等を自分たちで学び合うことがねらいです。

子育て支援

「たけんこ」

「子育て広場・たけんこ」は、0歳から就学前までの親子が楽しく遊べる広場です。園内で自由に遊んで、親同士、グループなどでお互いに交流する場所として利用できます。また、子育ての不安や悩みなどの相談をお受けしています。開催日等の詳しい内容はホームページをご覧ください。

所在地（本園）垂水区山手2-3-18
（分園）垂水区中道2-3-5
第一生命ビル1階
電話（本園）（078）753-7777
（分園）（078）753-7711

ホームページ takeno-ho.jp

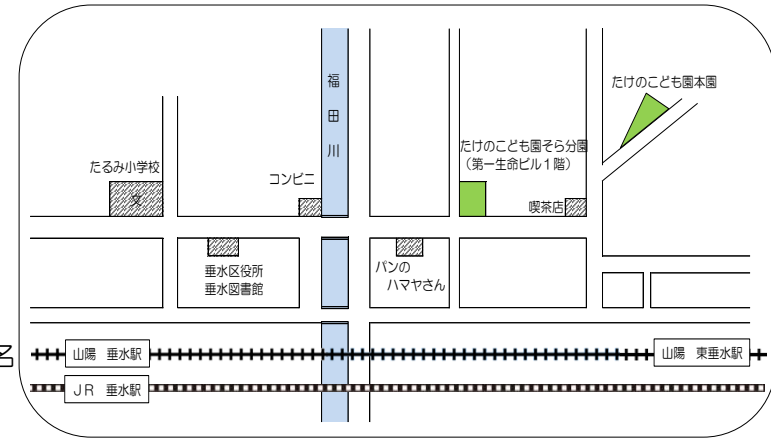
開園時間 7:00～19:00

定員（2・3号認定）80名（1号認定）9名

学級数（本園）4クラス（分園）2クラス

認定こども園認可日 平成29年4月1日

※たけのこども園は、0、1歳児はそら分園で、2歳児以降は全員本園で保育を行います。



	1号認定こども	2・3号認定こども
対象児	3～5歳児	0～5歳児（保育の必要性を認定されたこども）
実施日	国民の休日及び年末年始（12/29～1/3）を除いた月曜日から金曜日 ※新年度準備のため3/31は休業日	国民の休日及び年末年始（12/29～1/3）を除いた月曜日から土曜日
実施時間	8:30～13:00	保育短時間認定：8時間（8:30～16:30） 保育標準時間認定：11時間（7:00～18:00）
預かり保育 延長保育	7:00～8:30 13:00～18:00（別途利用料）	保育短時間認定：7:00～8:30 16:30～19:00 保育標準時間認定：18:00～19:00（別途利用料）

保育料以外に必要な費用（金額はおおよその目安です）

項目	主な内容	金額
入園時に必要なもの	体操服（ボロシャツ・半ズボンなど）	1,700円～
	通園リュック	4,800円
	カラー帽子	590円～
	氏名印	500円
	寝具バッグ	250円
	フェリカカード（保証金）※卒（退）園時に返金	300円
毎年必要なもの	日本スポーツ振興センター掛金	200円
	誕生日絵本	400円
毎月必要なもの	給食費（2号認定3～5歳児）	5,900円
	給食費（1号認定）※おやつ代別途（900円）	5,000円
	月刊絵本代	440円
都度徴収するもの	おたより帳（乳児用／幼児用） 園外保育の交通費	170～190円／80円 実費

*利用者に対するの保険

- ・「独立行政法人日本スポーツ振興センター」の災害共済に園と家庭とで掛金を負担して加入し、治療費が給付される制度です。
- ・当園は「ほいくのほけん（セットプラン）」に加入しており、大きな事故の補償に備えています。

社会福祉法人 陽光会

「芽でるときに」

全ての子どもは一人ひとりに個性があります。一人ひとりが自分自身で伸びようとする種を持って生まれてきます。

今、大人になった私たちも子ども時代がありました。楽しかったことは何ですか？ドキドキした時ってどんな瞬間でしたか？そんな時々には芽は出ます。芽がでる瞬間を創る、待つ、仕掛ける。子どもたちと関わる大人たちは「させる」ではなく、「支える」ことを大切にしています。土の中でしっかり根をはり、やがて大きな木の幹となることを願いながら見守ります。



乳児の育児担当制

一人ひとりの子どもの育ちに含ませてさまざまな援助を行い、穏やかな雰囲気づくりを工夫しています。



主体的に遊ぶ

月齢や一人ひとりの興味に合わせてじっくり遊べる環境を整えています。



自然とふれあう

自然の中で五感を育てながら保育者も子どもも夢中になれる遊び。自然体験を通して発見や感動体験となるよう様々な工夫をしています。



思い切り体を動かす

元気いっぱい園庭であそび回っている子どもたち。泥だらけになって何やら作る子ども、固定遊具で遊ぶ子ども、そして夢中になって虫を探している子ども。園庭のいたるところで、子どもたちは様々な活動を全身で取り組んでいます。

